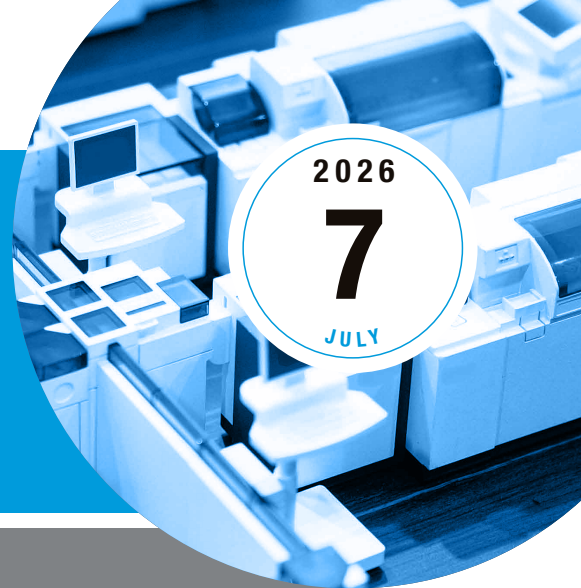


Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 会長就任にあたって… 1
- 地区だより(尾張北)…………… 2
- 特集 支える力、伝える力 広報部
…………… 3・4
- 研修会…………… 5
- メールアドレス登録のお願い… 5
- 愛臨技HP求人情報掲載について
…………… 5
- 会員執筆物の紹介原稿募集…… 5

2026年6月1日現在 正会員数 4,050名

会長就任にあたって

愛臨技会長 刑部 恵介

令和8年6月21日に開催されました定時総会においてご承認いただき、その後の理事会にて当会第16代代表理事・会長に選任いただきました藤田医科大学の刑部恵介です。藤田孝前会長が築かれた事業と理念を継承し、愛臨技のさらなる発展に向けて全力で務めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。今回の役員改選では、副会長2名、理事12名(外部理事を含む)、監事1名が新たに就任し、新体制がスタートしました。40代を中心とした若い世代の役員も増えましたが、新任役員の新しい発想と重任役員の経験を融合させ、力を合わせて会務に取り組んでまいります。

私と愛臨技との関わりは、2007年に生理検査研究班班員となったことから始まりました。その後、班長を務め、2017年には中根元会長、藤田前会長から突然「組織部長」を拝命したことをきっかけに理事としての活動が始まりました。若輩者の私を多くの先輩方が支えてくださり、その後、副会長としても貴重な経験を積ませていただきました。今後はその経験を生かし、愛臨技の歴史と伝統を大切にしながら、新たな時代にふさわしい活動を進めてまいります。

近年、WEBを活用した情報共有や学術活動は大きく発展し、その利便性はますます高まっています。一方で、専門職として成長し、地域医療を支えていくためには、人と人が直接顔を合わせて交流し、意見を交わす機会も欠かせません。愛臨技では、会員同士がつながり、新たな学びや仲間との出会いを得られる場づくりを推進してまいります。

また、少子化への対応は喫緊の課題です。18歳人口は2025年の約110万人から2045年には約70万人になると予測され、臨床検査技師を志す若者の減少が懸念されています。愛臨技として、臨床検査技師という職業の魅力や社会的役割を積極的に発信し、次世代を担う人材が夢と誇りを持ってこの道を選べる環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への備えも重要です。有事の際にも臨床検査を継続し地域医療を支えるため、平時からの防災体制整備と会員相互の連携強化を進め、迅速かつ的確に対応できる組織づくりを目指します。

愛臨技は役員だけで運営するものではなく、会員の皆様とともに作り上げる組織です。私が会長として最も大切にしたいのは、一人でも多くの会員の皆様に技師会へ関心を持っていただくことです。研修会や学術活動への参加だけでなく、会誌やホームページを通じて愛臨技の活動に目を向けていただき、より身近な存在として感じていただければ幸いです。その積み重ねが、より活力ある技師会の実現につながると信じています。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



歴史と自然に寄り添うまち・小牧市と地域医療



愛知県北西部に位置する小牧市は、名古屋市に隣接し、交通アクセスに恵まれた地域です。産業や物流の拠点として発展する一方で、歴史や自然を身近に感じられる魅力的なまちでもあります。

その象徴ともいえるのが、織田信長ゆかりの小牧山です。標高85.9メートルの小山ですが、山頂からは尾張平野を一望することができます。戦国時代には織田信長が小牧山城を築き、その後の小牧・長久手の戦いでは徳川家康の主陣地となるなど、歴史の舞台となった場所です。

近年では整備が進み、散策しながら歴史に親しめる場所として多くの人々が訪れています。山頂の小牧山歴史館では、小牧山城や戦国時代について学ぶことができ、展望スペースからの景色も魅力です。また、ふもとにある小牧山城史跡情報館れきしるこまきでは、発掘調査や小牧山の歴史について分かりやすく紹介されています。

春には「桜まつり」が開催され、小牧山一帯が満開の桜で彩られます。また、9月には小牧山史跡公園で薪能が開催され、かがり火に照らされた幻想的な舞台は小牧の秋の風物詩となっています。

地域医療を支えているのが、小牧市民病院です。2019年の新病院移転により、より充実した医療環境が整備され、地域の中核病院として重要な役割を担っています。

小牧市民病院のすぐ近くに小牧山があり、たくさんの遊歩道が整備されています。気負わずお散歩感覚で歩けるのも魅力の一つです。お子さんと一緒に、また愛犬との散策にもおすすめです。特に北側の木々に囲まれたエリアは静かで、市街地の近くとは思えないほどゆったりとした時間が流れています。

日々の業務に追われる中でも、こうした地域の風景に触れることで気持ちが整います。地域の魅力に支えられながら医療に携われることを、これからも大切にしていきたいと思えます。



特集 ちから 支える力、 ちから 伝える力



渉外部門 広報部の紹介!

私たち広報部は、愛知県臨床検査技師会と会員の皆様をつなぐ「情報発信の基盤」として日々活動しています。今回は、広報部の役割、会員の皆様へのメッセージ、迅速な情報伝達のための仕組みづくりを含めた未来に向けた展望をご紹介します。



広報部の役割と活動内容

広報部の主な役割は、技師会ホームページのタイムリーな編集・更新や、会報「らぼニュース（Web版）」・「会誌らぼ」の編集・発行です。画面上での見やすさやアクセスのしやすさを追求し、会員の皆様に親しまれる誌面づくりを心掛けています。さらに、会員管理をスムーズに行うためのグループウェア管理（入会・退会対応など）や、各研究班のホームページ更新内容の確認・進捗管理といったインフラ面のサポートも担っています。

また、近年のデジタル化に伴い、技師会や各研究班が主催する講演会・研修会のライブ配信やオンデマンド配信の動画作成・サポート業務も重要なミッションです。学術活動の熱気や有益な情報を、場所や時間を問わず多くの会員へ届ける後方支援を日々行っています。

- 1 愛臨技ホームページの編集・更新**
最新の案内や各研究班の更新内容を確認・進捗管理し、情報発信の基盤を維持します
- 2 らぼニュース、会誌らぼの発行**
Web版への移行に伴い、より見やすく親しみやすいデジタル紙面の企画・編集を行います
- 3 研修会録画・配信サポート**
講演会や研修会の配信、視聴動画作成など、学術活動のデジタル化を支えます
- 4 技術面・会員インフラのサポート**
グループウェアの管理（入退会対応など）、円滑な情報伝達のための仕組みを守ります



広報部より会員のみなさまへ

いつも「らぼニュース」および公式ホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。広報部の活動は、会員の皆様からの温かいお声や、各地区・施設・研究班からの積極的な情報提供があって初めて成り立っています。

ホームページには現在、月に約5,000人、17,000件前後のアクセスをいただいております。私たちの発信する情報が皆様の日常や業務の支えになっていることを、部員一同大きな励みにしております。皆様の「知りたい情報」にすぐ手が届くような、利便性が高く、かつ愛着を持っていただけるメディア運営を目指してまいります。日常のルーティンとして、ぜひ毎月のチェックや積極的なご活用をお願いいたします。



広報活動の将来の展望

これからの広報活動において、私たちは「デジタル技術のさらなる追求」と「他職種・一般社会も含めた発信力強化」の2つを大きな柱として見据えています。

ホームページの操作性向上や新たな情報伝達ツールの導入検討はもちろん、配信技術・動画作成のさらなるブラッシュアップを行い、会員の皆様がいつでも・どこでも質の高い学術情報に触れられる環境をさらに強固なものにしていきます。

また、本会のホームページは会員だけでなく、他都道府県の技師、他職種、医療学生の方々も多く訪れます。愛知県臨床検査技師会が誇る全国トップレベルの活発な活動を分かりやすくアピールし、臨床検査技師という職業の認知度向上や社会的地位の確立を、広報の力で後押ししていきたいと考えています。



最後に紹介させていただきます

最後に、広報部で活動している部員3名をご紹介します。

大野広報部長の元、3人で協力し合いながら、技師会広報活動に貢献できるよう日々活動しています。

会員の皆様と直接関わる機会は少ないですが、より良い情報発信を“こうほう支援”する縁の下の力持ちのような存在として今後も精一杯努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



広報部 部員の紹介

安井 駿豊

広報部に入って2年になります。まだまだ慣れないことも多いですが、らぼニュースやオンデマンド配信など、会員の皆様にお届けできるように精一杯頑張っています。よろしくお願いいたします。

岩田 英紘

広報部員として、グループウェア管理（入会・退会対応など）や各研究班ホームページの更新内容確認・進捗管理、オンデマンド配信動画の作成などを担当しています。今後も各研究班の活動情報が円滑に発信され、多くの会員の皆様にご活用いただけるよう、技師会活動を支える「情報発信の基盤」として微力ながら努めてまいります。よろしくお願いいたします。

川本 洋平

広報部員2期目です。少しずつ広報部活動にも慣れてきました。引き続き部門員の皆様と協働し、会員の皆様へより良い情報発信ができるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

研 修 会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県 外 会 員：500円(消費税10%含む)

検査総合部門準備委員会

基礎教科：20点

日 時：8月22日(土) 14:30～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
7月1日(水)～8月22日(土)

定 員：120名

参加費用：無料

開催方法：現地開催

場 所：JA あいちビル 14階大会議室

テ ー マ：忙しい現場でも伝わる

臨地実習指導のコミュニケーション術
ー学生指導を円滑にする実践の工夫ー

講 師：

1. 臨地実習の質を左右するコミュニケーション
ー教育の目的から指導の本質を考えるー
藤田医科大学 土井 洋輝
2. 忙しい現場でも実践できる学生指導が
円滑になる声かけ・関わり方の工夫
豊橋市民病院 濱田 智博
3. 「見せて伝える」臨地実習指導
ーケースで考える、学生指導の課題解決ー
JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 林 健太

4. 実習の質を高める施設全体での取り組み
ーコミュニケーションを軸にした実践紹介ー

藤田医科大学病院 篠原 香月

司 会：JCHO 中京病院 天野 雄介

内 容：臨地実習は、学生が臨床検査技師としての姿勢や実践力を学ぶ重要な機会です。本研究会では、実習指導におけるコミュニケーションの重要性を整理し、学生への声かけや関わり方、資料・図を用いた「見せて伝える」工夫など、各施設の実践例を交えて紹介します。明日からの指導に活かせる具体的なヒントを学べる内容です。

日々の実習指導を振り返り、明日からの関わり方を見直すきっかけとして、ぜひご参加ください。

事前参加登録は開催当日まで可能ですが、定員に達し次第、受付を締め切ります。

なお、当日参加も可能ですが、定員に達した場合は事前参加登録者を優先します。円滑な運営のため、できるだけ早めの事前参加登録にご協力ください。

問合せ先：JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 林 健太

E-mail：h-kenta@toyota.jaaikosei.or.jp

TEL：0565-43-5000(内線7198)

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web 版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いいたします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いいたします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP 会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らばニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP